

しなののうた

一山を占めて鳴くがの春蟬に放たれゆきぬ山に来たれば



杉田小百合

しなののうた

奥社より中社に続く山道をせせらぎ沿いに山を下れり

杉田小百合



しなののうた

越水の原に結界の石ありて女人らを偲ぶ幾世越せども

lomi

杉田小百合

しなののうた

さやさやと吹く風さやか白樺の林の中をゆるりと歩む

杉田小百合



しなののうた

別荘が白樺林に戸を閉ざし清みて聞くなり鳥のさえずり



杉田小百合